

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立梅文化会館	
(2) 施設の設置目的	
市民文化の創造及び振興に寄与するため設置	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化部 文化課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人堺市文化振興財団	
(5) 指定期間	
平成27年4月1日から平成32年3月31日まで（5年間）	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">・貸館業務をはじめとする施設の管理運営に関すること・ホールなどを活用した文化芸術振興事業を行うこと・施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること・消防訓練や避難経路の確保を行い緊急時の対応に備えること・市から貸与を受けた備品を適切に管理すること・利用者の意見を管理運営に反映させるため、アンケート等による意見聴取を行うこと・自主事業に係る業務に関すること	
(7) 有料施設の有無	
有(利用料金制)	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
和泉シティプラザ	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

朗読発表会や文化講座など、市民参加型の事業を積極的に実施し、市民の文化活動の促進を図っている。

(2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団	公益財団法人堺市文化振興財団
ア 利用者数 (人)	177,966	178,637	176,242	187,731	/
イ 稼働率 (%)	80	81	81	82	
ウ 利用者満足度 (%)	92	89	83	85	
「利用者サービス」における市による状況分析	毎年恒例のイベントに加え、新規の団体・企業等の利用者が増加したことにより利用者数が1万人近く増加し、稼働率もアップした。				

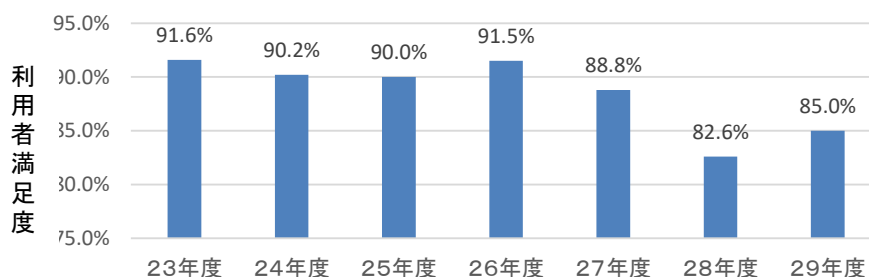
(3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	99,572,000	90,900,000	90,873,000	90,846,000	90,820,000
	利用料金	26,454,912	24,329,191	25,359,467	26,111,728	26,837,000
	負担金	0	0	0	0	
	その他収入	3,926,664	10,874,975	11,037,018	10,473,697	13,661,000
合 計		129,953,576	126,104,166	127,269,485	127,431,425	131,318,000
イ 支出	人件費	40,469,626	39,516,523	39,216,549	41,743,942	39,376,000
	委託料 ()内は総支出額に占める委託料の割合	49,289,395 (37.9%)	52,900,102 (40.2%)	53,649,739 (40.6%)	55,294,602 (40.6%)	54,902,000 (41.8%)
	その他経費	40,158,571	39,084,629	39,143,467	39,310,181	37,040,000
合 計		129,917,592	131,501,254	132,009,755	136,348,725	131,318,000
利用者一人当たりの支出額		730	736	749	726	—
ウ 収支差額		35,984	-5,397,088	-4,740,270	-8,917,300	0
エ 市への納付金の額		—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合の徴収額		—	—	—	—	—
「収支状況」における市による状況分析		昨年度よりも赤字額が拡大しているが、主な要因としては、主催イベントの集客が伸びず、チケット収入が予算を大きく下回ったこと、施設の老朽化に伴い、施設の破損事案が発生し修繕が必要となったこと等が考えられる。				

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者満足度	(設定理由) サービスを受ける側の意見を把握するための指標の一つと考えられ、これにより施設のより良い管理運営に努めるため。
	目標	90%以上	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	85%	(分析) 文化芸術振興事業及び自主事業において、積極的に主催イベントを開催しているものの目標を達成することができなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	会館利用者による不審者通報や、警備員への暴行などの事象が発生したが、迅速に事態を把握し、警察と連携して適切に対応した。
---------------------------------------	---

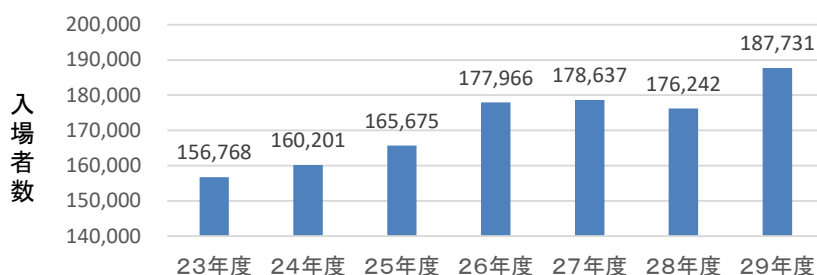
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	評価	B	
	具体的な理由	「不審者・不審物対応訓練」・「救急救命講習」・「防犯カメラの設置」等、的確な安全管理を実施。水道管の破損等、設備関連の故障が多発した。	新規利用者をターゲットとしたイベントを開催したり、休憩所を設置するなど利用者満足に資する取り組みを行っている。一方で設備としては老朽化に伴う故障等が発生し、利用者の利用意欲や満足感の妨げになっている。
対応策等	館内の至る所で老朽化による経年劣化が見られ、運営に支障をきたしかねない。平成30年度から市と連携し順次、改善に着手する。	利用者が安全かつ快適に会館を利用できるように、計画的に設備を補修・修繕を行っていく。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	入場者数	(設定理由) 施設の利用しやすさ、または施設で行う事業の魅力を反映しやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	177,000人	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	187,731人	(分析) 一般のホール利用者が前年度より増加したことに伴い、観客動員数も増加し、目標値を大きく上回った。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	新規サークルの立ち上げを積極的に広報したり、館内にサークル専用の掲示板を設置するなど、サークル活動を活性化する取り組みを実施した。
--	---

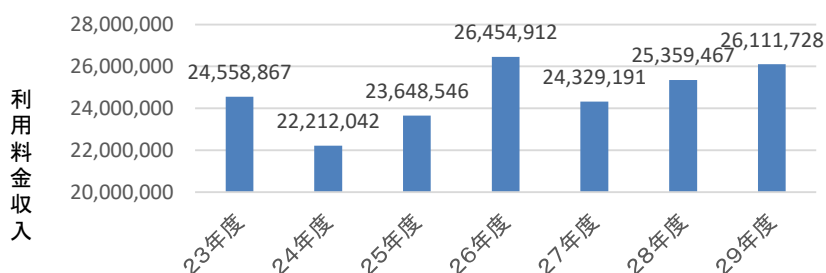
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	イベントごとに利用者からアンケートで意見を聴取し、次回開催時には要望に合わせて演出を改善するなどの工夫を行っている。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	入場者数は前年よりも1万人程増加したものの、館主催の有料事業面では観客動員数が伸び悩んでおり、収支を圧迫している。また、近隣の食事環境に対する利用者からの苦情が多く、検討を要する。		一般利用者のホール利用を促進することで、入場者数が大幅に増加し、目標値及び前年度実績の双方を上回ったが、館主催事業の観客動員数が30～60%にとどまっている。	
対応策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・販促活動においてSNS等の新ツールを導入し強化を図る。 ・ 利用者の食事環境を改善するため、堺市内で活動する「キッチンカー・サークル」との検討に入る。 		利用者の半数以上が高齢者であるため、若い世代の利用者を新規に取り込み定着するよう、館主催事業の内容を改善する。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	利用料金収入	(設定理由) 指定管理者の営業努力が反映されやすい指標の一つとして考えられるため。
	目標	26,810,000円	(設定理由) 平成29年度事業計画の目標
	実績	26,111,728円	(分析) 稼働率が前年度実績よりは上回ったが、目標値までは至らなかったため、利用料収入も目標を達成できなかった。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	年間を通じて、節電節水対策を推進した結果、前年度より約57万円削減できた。
------------------------------------	---------------------------------------

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし。
-----------------------	-------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	利用料収入はほぼ横ばいであるが、光熱費、修理・修繕費、事業収支が悪化しており、抜本的な改革をしなければならない。		主催イベントの観客動員が伸びないことにより、文化芸術事業、自主事業ともに赤字になっている。さらに施設の経年劣化等により、光熱水費、修繕費がかさみ収支を圧迫している。	
対応策等	職員による「事業検討会議」「収支改善会議」を立ち上げ、常に費用対効果を意識した事業・会館運営を実施する。		料理室や和室などの低利用室の稼働率を上げるとともに、収益につながる魅力的な主催事業を実施することで収入増につなげられたい。また引き続き、光熱水費などの固定費を削減することで収支改善に努められたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの